

安全上のご注意

警告

- 煙が出ていたり、変な臭いがあるときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に異物を入れしないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落としたり、ケーブルネットを破損した場合はすぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- コード類・プラグ類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ご使用になるとき

- 修理・改造・分解はしないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品を分解・改造をした形跡があると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
- 内部に異物を入れしないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。水辺での使用はしないでください。
- 強い振動を受けてしまう様なご使用方法はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 航空機内で使用するとき、航空会社の指示に従ってください。航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

設置をするとき

- 野外や風呂、シャワー室など、湿気の多い所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因にもなります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に固定して設置して下さい。振動を与えると、故障の原因となります。
- 加湿器やストーブなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品を 작동させながら移動・持ち運びをしないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。

注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となる場合があります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になる場合があります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因となる場合があります。

A Cアダプターについて

- A Cアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターの電源コードは、傷つけたり、延長するなどの加工をし、加熱したりしないでください。
- A Cアダプターの電源コードは、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟んだりしないでください。
- A Cアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりを取ってください。火災・感電の原因となります。
- 通電中のA Cアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でA Cアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターは、指定のものを使用してください。指定以外のA Cアダプター・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ずA Cアダプターをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。

バッテリー(別売)について

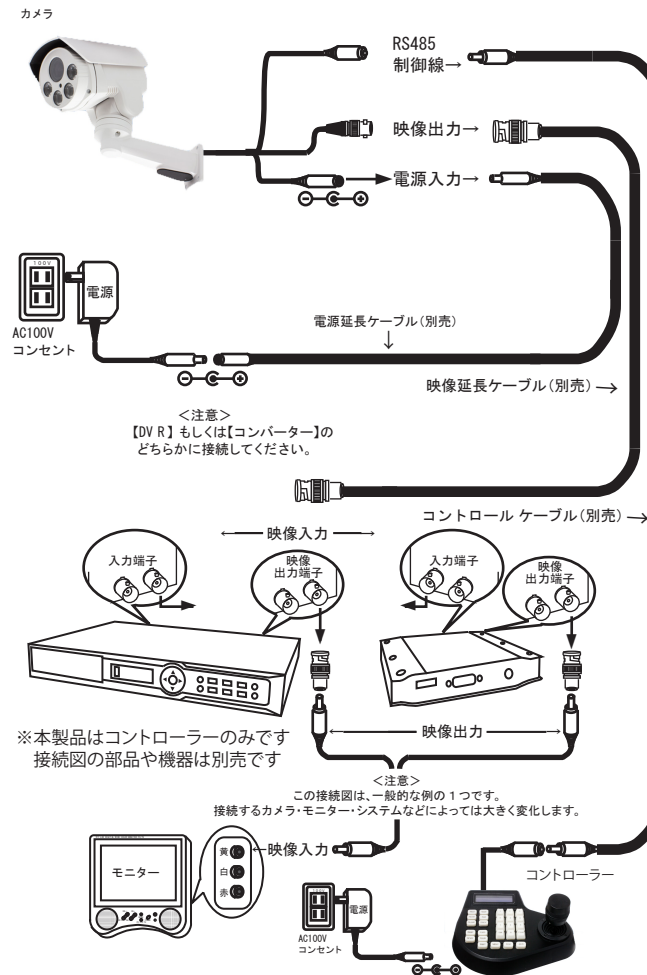
- A Cアダプターは本機以外の用途に使用しないでください。
- A Cアダプターの電源はコンセントの奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。
- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破裂・発火の原因となります。バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないでください。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かない様にして下さい。電極(+端子と-端子)に接触すると、ショートし、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。

免責事項について

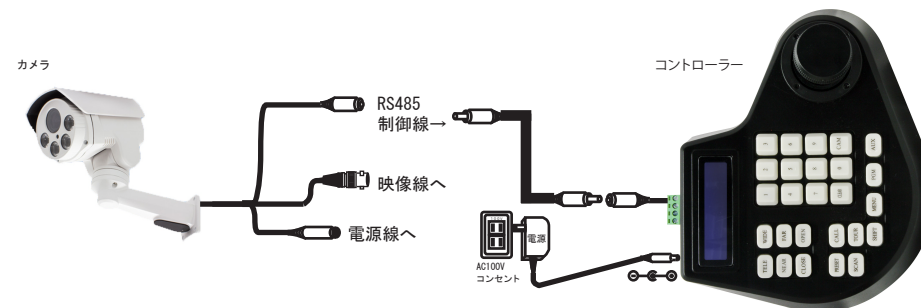
- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。
 - 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- ※取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。

本製品とは、当てはまらない項目もございます

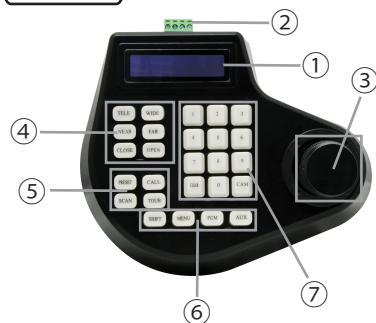
基本接続



基本接続2

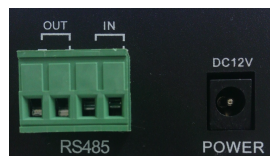


各種名称



- ① ディスプレイ
- ② RS485接続端子
- ③ ジョイスティック
- ④ ズーム・ピントボタン
- ⑤ プリセット・コールボタン
- ⑥ メニューボタン
- ⑦ テンキー

RS485接続



カメラとの通信の為にRS485線を接続してください
カメラと接続するコントロール線のプラス線を
OUTの+に接続してください
カメラと接続するコントロール線のマイナス線を
OUTの-に接続してください

設定変更

カメラとの通信設定

コントローラーのプロトコルとボーレートを変更できます

初期設定は

プロトコル PELCO-D ボーレート 2400です

カメラの設定を確認し変更が必要な場合のみ操作してください



コントローラーの電源が入っている状態で[SHIFT]を押してから
[MENU]を押してください

PROTOCOL→PELCO-D
BAUD RATE:2400

ジョイスティックの上下でプロトコルとボーレートの選択変更
左右で設定変更です

プロトコル PELCO-D、PELCO-P、SAMSUNG、PANASONIC

ボーレート 1200、2400、4800、9600、19200

設定が完了したら[MENU]を押してください

コントローラーの操作音を消すには 電源が入った状態で
「999」と押した後 「AUX」を押してください

また操作音を消した状態で同じ操作をすると音が出ます

カメラ操作

カメラとの接続が完了している状態で カメラIDをテンキーを使用し
打ち込み [CAM] を押してください

ジョイスティックを動かすと動かした方向にカメラが動きます

[TELE] を押すとズームIN

[WIDE] を押すとズームOUT

[NEAR] [FAR] を押すと手動でピント調整



特殊操作



カメラの機能にプリセットやスキャン、ツアー機能がある場合
カメラの設定をすることにより 操作できます

[PRESET] 決めた位置に移動する機能の登録

[CALL] 決めた位置に移動する

[SCAN] A地点、B地点を決めてAB間を交互に監視

[TOUR] 複数のプリセット位置を順番に移動

例 [プリセット]

ジョイスティックで登録したい位置に動かします

登録番号(1~255)を押し [PRESET] を押します

※カメラによって登録できる番号に上限があります

例 [コール]

プリセット登録番号(1~255)を押し [CALL] を押します

登録された位置に移動します